

# 援護基金

機関紙第66号  
(平成22年7月)



(日比谷公園)

財団法人 中国残留孤児援護基金

## 第七〇回理事会・第二〇回評議員会

### 平成二十二年度事業計画・予算案を議決

援護基金は、平成二十二年三月十六日に第七〇回理事会及び第二〇回評議員会を、いずれも都内の「経団連会館」において開催しました。

理事会では、介護関連の新規事業を盛り込んだ平成二十二年度の事業計画案及び予算案並びに援護基金の新公益法人への移行に当た

り最初の評議員の選定委員の選出について審議し、事務局原案どおり議決されました。

評議員会では、加藤評議員を議長に選任し、理事会での議決事項について審議し、理事会議決通り承認されました。

〔新公益法人とは〕及び二十二年度事業計画、予算の概要は別掲

## 第七一回理事会、第二一回評議員会

### 平成二十一年度事業報告・決算を承認

また、平成二十二年六月十五日に第七一回理事会を、同月二十三日に第二一回評議員会とともに都内「東京国際フォーラム」において開催しました。

の理事・監事候補者及び平成二十二年度の予算組換え案について現段階における案の提案があり、質疑が行われました。

理事会では、平成二十一年度事業報告、同決算報告、監査報告及び公益財団法人移行後における、最初の評議員の候補者（評議員選定委員会へ推薦する者）について審議し、事務局原案通り議決されました。

評議員会では、加藤評議員を議長に選任し、理事会での議決事項について審議し、理事会議決通り承認されました。

（二十一年度事業報告・決算の概要は別掲）

そのほか、新公益法人への移行関連事項として定款改正案、最初

の交替にともない、御手洗富士夫理事から辞任の申し出があり、同理事の後任として新経団連会長の



第70回 理事会



第21回 評議員会

米倉弘昌様が全会一致で選任されました。

そのほか新公益法人への移行関連事項が理事会と同様提案され、質疑が行われました。

御手洗富士夫前理事には、平成十八年五月三十一日から当援護基金の理事として四年にわたり在任していただきました。誠にありがとうございました。

### 山本純男 団体助成委員会委員長 逝去

山本委員長におかれましては、本年三月二〇日逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

援護基金は団体助成委員会の審査を受けて、帰国者やその家族を対象に活動しているボランティア団体に対し団体助成金を支出していますが、山本委員長には、昭和六〇年九月から二十四年間にわたり団体助成委員会の委員長を務めていただきました。本当に長い間ありがとうございました。

### 援護基金 人事

#### 新理事

米倉 弘昌（社団法人 日本経済団体連合会 会長）

#### 退任理事

御手洗 富士夫（前 日本経済団体連合会 会長）  
中国帰国者定着促進センター 所長

#### 退任

小林 佑一郎氏（3月31日）

就任  
小林 悦夫氏（4月1日）

## 要介護支援モデル事業

# 援護基金による「セミナー」開催も

平成二十年度、二十一年度の二年にわたり、援護基金では国からの委託事業として「中国残留邦人の要介護支援モデル事業」を競争入札により受託し実施しました。

平成二十二年度については、国で予算化されなかったことから、援護基金の自主財源で、前年度に引き続きこの「要介護支援モデル事業」を発展的に実施します。

残留邦人が高齢化し、要介護状態にあっても、日本語の未習得と日本の生活習慣に適応できていないことから、施設に入ってもあるいは通所制のデイサービスでも、他の一般日本人入所者や施設職員と意志の疎通が出来ないことへの支援は、引き続き中国語話者を派遣して「語りかけ」を行うサービスを一部の地域で行います。

さらに、中国帰国者の入所又は通所に関して、問題を抱えておられる施設の方や、自治体から施設に派遣される予定の支援通訳の方々を対象に、過去2年間の研究会で得

た問題点や解決事例などを参考に、介護、看護、臨床心理などの研究者による、セミナー（講習会）を実験的に開催する予定です。

現在、その方法などを検討中で今年度後半には実施致します。

### 平成二十年度

#### モデル事業の概要

今年一月の本紙（第六五号）でも紹介しましたが、事業目的などを総論的に掲載したものでしたので、今回は具体的に紹介します。

平成二十年度、援護基金は、

事業の受託契約ののち「中国残留邦人の要介護支援モデル事業実施にかかる研究会」を設置しました。

（委員は別掲のとおり）

研究会は、度々会合を開いて、調査の方法の検討や調査対象入所施設、調査対象入所者の選定を行い、進められた調査の報告を受け、モデル事業の施設を選定し、三人の支援員（元中国の医師で二世帰国者、日本語や日本の生活習慣を習得し長い間帰国者の生活指導員を勤めている帰国者、中国の看護師経験があり日本に帰化した者）が入所中の対象者を度々訪ね中国語による語りかけを行いました。

この間、委員自身も、施設を訪ねたり語りかけに同行したほか、帰国者からのヒアリングや、委員以外の社会福祉の専門家から意見を聞く聴講会を開いたりして精力的に活動されました。

事務局としてはこの事業に

## 需要护理支援の模式事業

### 援護基金也开始举办

#### 对此项事业的「研讨」

在平成二〇年度、二十一年度の两年間、援護基金是通过公开竞标的方式将「遗华日本人需要护理支援的模式事业」作为一项国家的委托事业，受到委托而实施了。

在平成二十二年度，因为国家没有此项预算，因此，援护基金用自主的财源接续前一年度的「需要护理支援的模式事业」继续发展 实施。

这项事业，是因为遗华日本人的高龄化，虽然他们的状况需要护理，但是因为他们没有学过日语和不能适应日本的生活习惯，特别引人注目的是，即便是让他们进入到设施或者是利用托老所的制度进行托老护理服务，但是他们也不能与其他的一般入所日本人及设施中的职员疏通思想，对此我们要继续派遣会讲中国话的人支援他们进行「对话」服务。这项工作我们准备在部分地区开始实行。

还有，为了进一步解决设

施中各位职员对中国回国者在入所和利用托老所期间所遇到的各种问题，及以自治体将预定要派遣到设施去的支援翻译为对象，根据研究者的建议，在参考过去两年间的研讨会中所提到的问题和解决事例的同时，对今后的护理、照顾、临床心理等我们预定准备开展此项研究（讲习会）工作。

但是，因为援护基金的财源有限，不可能在全国展开，所以想接续去年的实验工作。在一部分地区继续进行模式事业。

现在，对对象选定的方法等正在探讨中，所以准备在今年度的后期实施。

### 平成二〇年度模式

#### 事业的概要

今年在一月的正刊（第65号）当中已经作过介绍，并刊登了有关此项事业的目的等总论。所以这次只做一些具体的介绍。

専従する担当者を配置したほか他の事務局員も施設調査などを手伝いました。

## 二十一年度の事業概要

二十一年度は、事業の開始は九月になりました。

新しく研究会を設置し、前年同様の会合を重ねながら、帰国者が入所又は通所している老人福祉施設にアンケートを行いました。

また、前年度に続き、老人福祉施設に入所中の帰国者に「中国語による語りかけ」をモデル事業として行いました。

これは、前年度と同じ対象者に行ったほか、アンケート調査で、施設からも要望のあった三十人余りの入所や通所の帰国者あるいは配偶者について行いました。ただし、新しい入所者への語りかけは、期間が短かったこと、対象者が多かったことから、多くの方は一回限りのものとなりました。

## モデル事業の効果

「中国語による語りかけ」の成果は、入所者の状況によ

って、あるいは訪問数が少なかった人については、目に見える状況変化（改善）にまで至らなかったケースもありましたが、数人については明らかに、食事、更衣、歩行、排泄など人が生活を営む上での基本的行動（ADL）の改善がありました。車椅子に頼りきりであった人が、杖を使って歩き始めたり、話すことを忘れていたような要介護の高齢女性が言葉を発表するまでに

なった例があったのです。日本語の習得が出来ていない高齢帰国者にとって、中国語での語りかけは、単に用語伝達や世間話に留まらず、内なる中国との再会であり、心理療法としての回想法的效果があるのではとの指摘もあります。

モデル事業の課程で、終戦時の年齢にもよるのか、日本語も中国語も十分に話せない人（ダブルリミテッド）の存在も明らかになりました。

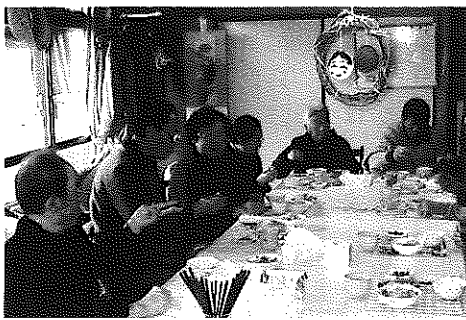
また、定期的な語りかけを中断したところ、基本的行動の改善状態が元に戻ってしまった例もありました。

アンケート調査による調査では、施設によってはごくま

れに中国語のできるヘルパーがいたり、必要に応じて行政による「帰国者自立支援通訳」の派遣を要請しているところもありましたが、多くの施設はそのような仕組みを知らないようでした。

また、中国帰国者としてそれなりの配慮をしている施設もあるものの、一般日本人と同様の対応しか考えない施設が多い、などの状況がわかりました。

これらの情報は、年度ごとの報告書に詳細に記載し、厚生労働省中国孤児等対策室に報告したところです。



（宅老所ふれあい街道 ニイハオ）

## 平成二十一年度の事業概要

在平成二十一年度此項事業の開始は在九月份。

安排了新的研究会，在重

复开展与前一年同样集会的同  
时，向入所的回国者及利用托  
老所的回国者，对老年福利设  
施进行了民意调查。

另外，接续前一年度的工  
作，同老年福利设施入所中的  
回国者进行了「用中文对话」  
的模式事业。

除了与前一年度的同一对  
象者进行调查以外，还根据设  
施的要求对三十多名入所和利  
用此设施的回国者以及配偶者  
也进行了调查。但是，同新入  
所人的对话，因为期间较短、  
对象者较多的原因，仅限定一  
次。

## 模式事业的效果

「用中文对话」的成果，  
是根据入所者的状况及访问次  
数的多少，其成果也有所不同。  
在达到能够观察到他们的状况  
有所变化（改善）期间，也有  
照顾不周到的例子发生。从多  
数人当中可以明确地看到饮食、

更衣、歩行、排泄等維持人の生活の基本行動（ADL）有所改善。依頼轮椅の人、开始用手杖行走。还有一个例子，是一位高龄女性已经忘记了用语言表达，需要护理的程度已经达到了五度，最后却恢复了讲话的能力。

对于没有掌握日语的高龄回国者，用中文对话不仅仅停止于只是传达事情和闲聊的阶段，更重要的是要通过对话形式，使他们又重新找到了好像在中国相会的效果。所以被认为是心理疗法中的回想法效果。

根据模式事业的结果表明，由于终战时的年龄不同，还存在着不能够充分地利用日语及中文说话的人（即：失去了使用母语和外国语的状态）。

另外，还有例子是，如果中断了定期的对话练习，其基本行动的改善又将返回到原来的状态。

根据民意调查的结果表明，有的设施可以根据需要向行政机关提出要求派遣会讲中文的护理员（回国者自立支援翻译）。但是，还有很多的设施并不知道有这样的组织机构。

另外，还有一种情况是，虽然照顾中国回国者的设施，但是多数设施还是以照顾一般日本人而考虑的。

像这样的情报，我们将详细地记载在每个年度的报告书上，并向厚生劳动省中国孤儿等对策室汇报。

面向以汉语为母语的人们的

## 医疗术语·语句集

中国語を母語とする人のための医療用語・表現集

B5判 ¥2,500円（税込）

公益法人（社団法人及び財団法人）は、これまで民法第三十四条に規定され、広域に渡る活動をする法人は、国の主務大臣の監督を受け、一つの都道府県内で活動する法人は都道府県知事の監督の下に活動してきました。

近年、公益法人の見直しの気運が高まり、平成十八年に「公益社団法人及び公益財団法人の認定に関する法律」はじめ、三本の法律が制定され、これまでの公益法人は、「特例民法法人」とされ、平成二十年十二月から五年以内に、公益財団法人又は公益社団法人としての認定を受けるか、それとも一般財団法人または一般社団法人へ移行するかを選択を迫られることになりました。

当中国残留孤

児援護基金は、財団法人として昭和五十八年厚生大臣に設立を許可され、寄付者への所得税の優遇措置（これには別の申請と認可が必要、や利子所得の課税免除の扱いを受けて運営してきました）。

## 「新公益法人」とは

また、評議員会や理事会には、代理出席や委任状が認められず、本人の出席が必要で、会計についても、従来の会計別に経理していた財務諸表が、事業別に費目を並べて計上するほか、余分な留保財産を持たないようになるとが求められており、内部の規程の見直しも必要です。

しかし、内閣府の「公益認定等委員会」に申請して公益財団法人として認められなければ、「公益」を名のれず、税法上の優遇措置を受けられなくなり、運用収入にも課税され、これまでの例からすると年間八百万から二千万円の税金を納めることとなります。

公益財団法人と認められるには、優遇措置があるだけにハードルも高くなっています。三本の法律には、これに関連した政令、内閣府令など細部を定めた多くの規程があり、基本にな

る定款（従来は、「寄附行為」といい団体の基本になる規則）を布令に基づいて定めなければなりません。

また、従来は、理事会と評議員会は相互に役員又は評議員を選任し、事業や予算は理事会で決定したものを評議員会が承認することで決まりましたが、新制度では評議員会が事業や予算は決定し、理事会はその決議を実行する執行機関になります。そして最初の評議員の選出方法も定められ、援護基金は、「最初の評議員選定委員会」が選任する方法を採ることにし、厚生労働大臣の認可を得ました。

また、評議員会や理事会には、代理出席や委任状が認められず、本人の出席が必要で、会計についても、従来の会計別に経理していた財務諸表が、事業別に費目を並べて計上するほか、余分な留保財産を持たないようになるとが求められており、内部の規程の見直しも必要です。

援護基金としては、国民皆様の善意を基盤にして、過酷な運命をたどらざるを得なかった残留邦人に手を差し伸べることは、まさに公益そのものであるとの意を強くし、さらにはこの事業の寄付者のためにも、運用益確保のためにも、是非とも公益財団法人としての認定を得るため、年度内に認定申請をする予定で準備中です。

平成二十一年度

# 事業報告の概要

## 一 寄付募集状況

平成二十一年度の寄付金は、  
一五、二八六、四〇〇円でした。

二 中国養父母への扶養費の送金  
帰国孤児が中国に残した養父母に  
対し、国と援護基金とで扶養費を送  
金しており、一、六三一、八六八円  
を送金しました。(一一名分)

## 三 中国帰国者定着促進センター の運営事業

中国残留邦人一五世帯、六一名。  
樺太残留邦人七世帯、二二名の研修  
を実施しました。

また、帰国者及びその家族の定着  
地での日本語習得事業として、通信  
教育による学習支援を行いました。

## 四 中国帰国者支援・交流センタ ーの運営事業

日本語の通学課程は一一コース、  
受講生延べ一、二七二名が履修しま  
した。

その他、健康増進講座や文化講座  
等の交流事業、地域支援事業、生活  
相談事業等を実施しました。

## 五 中国帰国者とその家族への就学 援助

① 高校、専修学校、大学の就学援助  
高校生 八名 専修学校等生  
五名、大学生 一五名、日本語学校  
生 一名の新たに二九名に貸与しま  
した。

高校 入学金 一〇万円

奨学金(月額) 二万円以内  
大学 入学金 三〇万円以内

奨学金(月額) 四万円以内  
専修学校入学金 五〇万円以内  
奨学金(月額) 四万円以内

② ヘルパー養成講座受講者援助

ホームヘルパー二級課程、同一級  
及び介護福祉課程受講者を対象と  
し、一一七名の受講者に給付しまし  
た。

③ 支援交流センター受講者援助  
国費対象外の帰国者二、三世受講  
者のテキスト代を全額援助しまし  
た。

※(財)岡村育英会から、中国残  
留邦人等の子弟に対して奨学金  
援助の申し出があり、大学生五  
名及び専門学校生五名の計十名  
を推薦し、十名全員に給付され  
ました。

## 六 中国に残る養父母のお見舞い 訪中援助

八名が養父母のお見舞いをしまし  
た。

## 七 訪中説明会(座談会)

昨年に引き続き健康上の理由や遠  
隔地に居住しているため従来の座談  
会に参加できない中国残留邦人宅に  
赴き、直接話をしました。

## 八 中国残留邦人等の集団一時帰 国受入事業

三回にわたり八一名の中国残留  
邦人等が訪日しました。

うち、第三回目の集団一時帰国で  
は二十一年度に新たに中国残留孤児  
と認定された一名(介護者一名)を  
含め受け入れました。

## 九 団体活動助成事業

日本語教育、福祉の向上を図るた  
めの援助活動等を行っている一六団  
体に対して、団体助成委員会の審査  
を受け助成金を交付しました。

## 十 就職援助事業

職業相談員を中国帰国者定着促進  
センター及び支援・交流センターに  
配置し、帰国者二世等に対し職業指  
導等を行っています。

## 十一 老後支援事業

① 介護事業基盤整備援助事業

練馬区のNPO法人「中国語の医  
療ネットワーク」が通所介護施設  
「デイサービス故郷」を練馬区石神  
井に開所し、三年目となるため、百  
万円の援助を行いました。

② 要介護支援モデル事業

昨年度に引き続き厚労省の委託事  
業です。(事業内容は二頁を参照)

九月二十四日に研究会を設置し、  
本年三月八日に第五回目の研究会を  
開催し、研究会としてまとめていた  
できました。

また、研究会の委員、中国語話者  
及び援護基金職員により、中国帰国  
者等が入通所している三〇施設五四  
名の入通所者に対する調査・支援を  
行いました。アンケートについては、  
三三四件(正味データ総数五一四件  
の六五%)の回答が得られました。

## 十二 教材の開発・出版事業

様々な年齢層や学習レベルの帰国  
者等の学習ニーズに応えるために、  
日本語教材等の開発、改訂、出版を  
すすめました。

## 十三 機関紙「援護基金」の発行

二回発行しました。

平成三十二年度

## 事業計画の概要

### 一 寄付金募集

以前からご協力いただいている企業のほか、新たな依頼先を探しながら努力致します。

### 二 中国人養父母への扶養費送金

昨年度帰国した孤児が、中国に残した養父母に対し、国と援護基金とで扶養費を送金します。

### 三 中国帰国者定着促進センターの運営事業

引き続き、帰国直後の帰国者家族の研修と、帰国者及びその家族の定着地での日本語習得のため、通信教育による学習支援を行います。

### 四 中国帰国者支援・交流センターの運営事業

日本語の通学課程は二コースのほか、健康増進講座や文化講座等の交流事業、地域支援事業、生活相談事業等を実施します。

### 五 中国帰国者とその家族への就学援助事業

①専修学校、大学等の就学援助  
大学・専修学校

奨学金（月額） 四万円以内

入学金 大学 三〇万円以内  
専修学校 五〇万円以内

なお、二十二年四月から高等学校及び専修学校（文科省指定の高等課程）については、国の施策により授業料の不徴収及び入学金の減免処置等が図られたことから当援護基金の援助対象としないこととしました。

②ヘルパー養成講座受講者援助  
ホームヘルパー二級課程、同一級及び介護福祉課程受講者に受講料の八割（上限一〇万円）を給付します。

③支援交流センター受講者援助  
帰国者二、三世受講者のテキスト代を全額援助します。

### 六 中国に残る養父母のお見舞い訪中援助

昨年同様、平成一七年以降、初めて養父母をお見舞いに行く孤児に対し、旅費、お見舞い金を支給します。

### 七 訪中説明会（座談会）

健康上の理由や遠隔地に居住しているため座談会に参加できない残留邦人宅に赴き、直接話をします。

### 八 中国残留邦人の集団一時帰国受入事業

今年も三回にわたり、集団一時帰国を受入れてお世話を致します。

### 九 団体活動助成事業

日本語教育、福祉の向上を図るための援助活動等を行っている団体に對して、団体助成委員会の審査を受け助成金を交付します。

### 十 中国養父母の訪日援助

養父母の高齢化等により集団訪日は一七年をもって終了し、お見舞い事業に一本化しましたが、病気で訪中できない帰国孤児から個別に養父母を招待したいとの個別の要望があれば対応します。

### 十一 就職援助事業

職業相談員を中国帰国者定着促進センター及び支援・交流センターに配置し、帰国者二世等に対し職業指導等を行います。

### 十二 老後支援事業

①介護事業基盤整備援助事業対象施設が在れば対応します。  
②要介護支援モデル事業（二頁以下参照）

### 十三 教材の開発・出版事業

引き続き日本語教材等の開発、改訂、出版をすすめます。

### 十四 機関紙「援護基金」の発行

年間、三回発行を目標とします。

## 中国残留邦人の要介護支援モデル事業にかかる研究会委員

### 平成二〇年度委員

座長 村川 浩一（日本社会事業大学社会福祉学部教授）  
委員 石川 宏（NPO法人「中国語の医療ネットワーク」代表理事（医師））  
委員 小宮 立先（NPO法人「柏の友」代表理事（介護福祉士））  
委員 名和田澄子（福岡医療福祉大学準教授）

### 平成二一年度委員

座長 村川 浩一  
委員 石川 宏  
委員 石原 茂（NPO法人「中国帰国者等のための介護・福祉の会」）  
委員 宅老所「ふれあい街道ニイハオ」所長（社会福祉士・介護支援専門員）  
委員 鎌田ケイ子（NPO法人「全国高齢者ケア協会」理事長）

# 平成21年度決算及び平成22年度予算の概要

(単位：千円)

| 区分               | 科目等                                                 | 平21決算               | 平22予算    | 説明       |
|------------------|-----------------------------------------------------|---------------------|----------|----------|
| 基<br>金           | 一<br>般<br>会<br>計                                    | 事業活動収入              |          |          |
|                  |                                                     | 基本財産運用収入            | 11,799   | 8,500    |
|                  |                                                     | 助成金収入               | 1,400    | 4,440    |
|                  |                                                     | 寄付金収入               | 13,761   | 10,000   |
|                  |                                                     | その他収入               | 2,941    | 810      |
|                  |                                                     | 計                   | 29,901   | 23,750   |
|                  |                                                     | 事業活動支出              |          |          |
|                  |                                                     | 老後支援事業              | 1,623    | 12,600   |
|                  |                                                     | 訪中座談会               | 995      | 1,900    |
|                  |                                                     | 団体活動助成              | 3,667    | 5,190    |
|                  | 事<br>業<br>金                                         | 機関紙発行               | 2,763    | 5,400    |
|                  |                                                     | 就職支援助成              | 1,580    | 5,550    |
|                  |                                                     | 定例相談                | 0        | 10       |
|                  |                                                     | 中国孤児担当官訪日協議         | 1,373    | 1,700    |
|                  |                                                     | 残留邦人援助              | 1,316    | 2,200    |
|                  |                                                     | 養父母訪日援助             | 0        | 500      |
|                  |                                                     | 支出小計                | 13,317   | 35,050   |
|                  |                                                     | 管理費                 | 23,967   | 28,600   |
|                  |                                                     | 助成金収入返納金支出          | 136      | 0        |
|                  |                                                     | 計                   | 37,420   | 63,650   |
|                  |                                                     | 事業活動収支差額            | △ 7,519  | △ 39,900 |
|                  | 投<br>資<br>活<br>動                                    | 投資活動収入              | 4,000    | 20,000   |
|                  |                                                     | 投資活動支出              | 680      | 700      |
|                  |                                                     | 収支差額                | 3,320    | 19,300   |
|                  |                                                     | 予備費                 | 0        | 3,000    |
|                  |                                                     | 資金時価評価差額            | △ 181    | 0        |
|                  | 事<br>業                                              | 収支差額                | △ 4,380  | △ 23,600 |
|                  |                                                     | 基本財産運用収入            | 28,911   | 20,000   |
|                  |                                                     | 事業活動収入              |          |          |
|                  |                                                     | 寄付金収入               | 1,526    | 1,000    |
|                  |                                                     | 扶養費国庫交付金(1/2)       | 816      | 1,000    |
| 受<br>託<br>事<br>業 | 扶<br>養<br>費<br>就<br>学<br>援<br>助<br>特<br>別<br>会<br>計 | 就学資金償還収入            | 34,390   | 21,000   |
|                  |                                                     | その他収入               | 2,847    | 1,575    |
|                  |                                                     | 計                   | 68,490   | 44,575   |
|                  |                                                     | 事業活動支出              |          |          |
|                  |                                                     | 扶養費送金額              | 1,641    | 1,830    |
|                  |                                                     | 就学資金貸与額             | 61,849   | 63,300   |
|                  |                                                     | 養父母お見舞訪中援助          | 1,115    | 3,780    |
|                  |                                                     | 支出小計                | 64,605   | 68,910   |
|                  |                                                     | 管理費                 | 23,512   | 30,800   |
|                  |                                                     | 計                   | 88,117   | 99,710   |
|                  |                                                     | 事業活動収支差額            | △ 19,627 | △ 55,135 |
|                  | 投<br>資<br>活<br>動                                    | 投資活動収入              | 26,597   | 30,000   |
|                  |                                                     | 投資活動支出              | 26,722   | 600      |
|                  |                                                     | 収支差額                | △ 125    | 29,400   |
|                  |                                                     | 予備費                 | 0        | 1,000    |
|                  |                                                     | 収支差額                | △ 19,752 | △ 26,735 |
|                  | 受<br>託<br>事<br>業                                    | 定着促進センター運営受託費       | 298,667  | 275,822  |
|                  |                                                     | 日本語通信教育事業受託費        | 51,367   | -        |
|                  |                                                     | 中国帰国者支援・交流センター運営受託費 | 104,198  | 86,487   |
|                  |                                                     | 要介護支援モデル事業受託費       | 14,972   | -        |
|                  |                                                     | 集団一時帰国受入事業受託費       | 35,056   | 34,228   |
|                  |                                                     | 就職援助事業受託費           | 5,717    | 5,797    |
|                  |                                                     | 計(受託費)              | 509,977  | 402,334  |
|                  |                                                     | 収支差額                | 0        | 0        |

# 平成22年度：主な事業の実施計画

| 援助事業                   | 4月                        | 5月   | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月  | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月   |
|------------------------|---------------------------|------|----|----|----|----|------|-----|-----|----|----|------|
| 中国帰国者定着促進センター          |                           | 86期生 |    |    |    |    | 87期生 |     |     |    |    | 88期生 |
| 中国養父母扶養費送金             | 第30回送金（日中間で名簿確認後）         |      |    |    |    |    |      |     |     |    |    |      |
| 就学援助                   | 貸与決定通知(H22)<br>貸与(4月～9月分) |      |    |    |    |    |      |     |     |    |    |      |
| ホームヘルパー養成講座<br>受講者への援助 |                           |      |    |    |    |    |      |     |     |    |    |      |
| 養父母お見舞訪中援助             |                           |      |    |    |    |    |      |     |     |    |    |      |
| 生活定例相談室開設              |                           |      |    |    |    |    |      |     |     |    |    |      |
| 中国残留邦人等一時帰国            |                           |      |    |    |    |    |      |     |     |    |    |      |
| 団 体 助 成                |                           |      |    |    |    |    |      |     |     |    |    |      |
| 機関紙発行                  |                           |      |    |    |    |    |      |     |     |    |    |      |
| 中国帰国者支援・交流センター         | 4月コース<br>開講               |      |    |    |    |    |      |     |     |    |    |      |
| 要介護支援モデル事業             |                           |      |    |    |    |    |      |     |     |    |    |      |

支援員の派遣  
セミナー（講習会）の開催

# 寄付者芳名録

(平成21年4月1日から平成22年3月31日までの分)

ありがとうございました

(敬称は省略させていただきます)

## [企業・団体の部]

|                              |         |                                         |           |
|------------------------------|---------|-----------------------------------------|-----------|
| (株) アイメック 石川勝秀               | 31,000  | 中国蘇繡三沢展                                 | 100,000   |
| 旭化成 (株)                      | 100,000 | 中国蘇繡和歌山展 寺柚成佳                           | 100,000   |
| アサヒビール (株)                   | 300,000 | (株) 電通                                  | 300,000   |
| イオンインターナショナル<br>(株) 代表取締役 原寛 | 3,000   | 東京電力 (株)                                | 50,000    |
| (社福) 大阪自興会                   | 10,000  | (株) 東京ドーム<br>野球観戦チケット、<br>ニクーリンサーカスチケット |           |
| (財) 偕行社                      | 5,000   | (株) 東横イン                                | 200,000   |
| (株) キンヤ 末石蔵八                 | 20,000  | 東レ (株)                                  | 50,000    |
| 遊び展 代表 北嶋三智子                 | 45,000  | (株) ナカノ 代表取締役 中野剛至                      | 101,500   |
| 木徳神糧 (株)                     | 100,000 | 日本長春会                                   | 30,000    |
| キャノン (株)                     | 300,000 | 西九リネン (株)                               | 14,132    |
| 協和発酵キリン (株)                  | 100,000 | 日本マクドナルド (株)                            | 50,000    |
| 工藤保険事務所 工藤隆夫                 | 10,000  | ハルピン桃山小学校<br>創立100周年記念同窓会               | 27,467    |
| 宗教法人 曹洞宗 光西寺                 | 10,000  | 阪和興業 (株)                                | 200,000   |
| 甲南女子大学ウナゼミ一同                 | 7,500   | (財) 広島県相互扶助会                            | 50,000    |
| (株) 小松製作所                    | 50,000  | (株) ファミリー・ライフ                           | 30,000    |
| 金光教日本橋教会 畑和子                 | 20,000  | 富士通ネットワーク<br>ソリューションズ労働組合               | 41,162    |
| 佐倉平和のつどい 代表 岩崎茂              | 10,000  | 富士通ユニティ労働組合                             | 60,000    |
| (株) 浄美社                      | 100,000 | 富士電機ホールディングス (株)                        | 30,000    |
| 高千穂会 会長 有澤栄之助                | 150,000 | 宗教法人普明会教団                               | 500,000   |
| 武田薬品工業 (株)                   | 50,000  | マブチモーター (株)                             | 50,000    |
| 多摩火薬機工 (株)                   | 10,000  | 満州376会 桧山一二                             | 73,000    |
| 中国蘇繡青森展                      | 100,000 | 出版会計より寄付                                | 3,000,000 |
| 中国蘇繡京丹後展                     | 100,087 |                                         |           |
| 中国蘇繡佐賀展                      | 100,000 |                                         |           |

## 〔個人の部〕

※ 個人情報保護の観点から個人寄付者名の公開は控えさせていただきます。

※ 個人情報保護の観点から個人寄付者名の公開は控えさせていただきます。

※ 個人情報保護の観点から個人寄付者名の公開は控えさせていただきます。

# 平成二十二年集団一時帰国事業スタート

## 第一回集団一時帰国に残留邦人十九名が参加

五月十八日(火)から同月二十九日(土)までの十二日間にわたり、中国残留邦人とその同伴家族の計十九名の一行が集団一時帰国しました。今回来日された方々は、これまでの援護基金の事業などによって複数回の来日経験があり、お世話をする援護基金職員や援護員とは顔なじみの方々ばかりでした。

成田空港では到着ゲートで待ち元気な姿の皆さんをお迎えしました。

二日目は日本滞在中の注意事項等の説明が行われ、皆さんは緊張感の中にも安堵感を感じながら説明に傾聴していました。そして夜には援護基金主催の歓迎会が盛大に行われ、全員で北国の春を大合唱しました。

三日目、親族訪問する方は援護基金職員の付き添いで日本各地の親族宅へ向かい、三泊の日程で親族と水入らずの時間を過ごしました。

親族訪問しない方々は三日目から三日間、援護基金の手配するバスで平和祈念展示資料館や江戸東京博物館の見学、東京タワーや完成が待ち遠しい東京スカイツリーの見学、下町・蒲田商店街の見学をかねてのお買い物などを楽しましました。

六日目、親族宅から東京に戻った方々も、東京で過ごされた方々も疲れが溜まってくる頃です。この日はホテル内で一日休養です。

七日目と八日目は参加者の皆さんが楽しみにしている温泉一泊旅行です。

今回は那須温泉に泊まりました。牧場で美味しいジンギスカンに舌鼓をうち、ハーブ園では講師の方の手ほどきの本、石鹸作りを体験して頂きました。普段は物静かな方が意外な(！)才能を発揮され、皆さんの拍手喝采を受けて大変ご満悦、大いに盛り上がりました。投宿後は露天風呂や数種類の温泉につかり、これまでの疲れ

を癒し、夕食は地のものを使った会席膳を堪能しながら、お待ちかねのカラオケ大会で盛り上がり、楽しい夜を過ごしました。

翌日は季節感いっぱいイチゴ狩りを楽しみ、食べ過ぎて昼食に手が付けられない方もいらっしゃいました。

九日目、秋葉原と錦糸町で電気製品などの買い物をしました。中国の家族や友人知人へのお土産選びも参加者のみなさんの楽しみの一つです。

十日目には、将来本邦に永住帰国を希望する方々は、帰国直後において入所して、基礎的な日本語や日本での生活習慣を学習する施

設である所沢の中国帰国者定着促進センターの見学、それから、継続した日本語の学習等を行うための通所施設である中国帰国者支援・交流センター(上野)を見学され、皆さん熱心に施設長や職員の方々の説明を聞いていました。

十一日目、中国へ再渡航する前日ですが、午前は援護基金の中沢常務理事を講師役に現在の日本事情をお伝えするオリエンテーションを行いました。午後は荷造りですが、親族からもらったお土産や秋葉原で買った電器製品などで、みなさんの荷物は来た時より随分増えていきます。夜は援護基金主催の歓送会があり、料理とお酒、カラオケで最後の夜を楽しみました。

最終日、次回また会うことを約束して、忙しく日程をこなした五月の集団一時帰国の一行は十二日間の本邦滞在を終えて、帰りの飛行機に乗り込みました。

今回の事業を通して、皆さんの目には、この祖国はどのように映ったのでしょうか。援護基金としては、一つでも楽しい思い出が心に刻まれるよう、職員一同、心を込めてそのお手伝いを今後もさせて頂く次第です。



横浜市キリンピアビレッジ

(財)中国残留孤  
児援護基金

## 役員名簿

理事長

多田 宏

社団法人 シルバーサービス振興会理事長 元厚生事務次官

常務理事

中沢 勝義

元厚生労働省社会・援護局業務課長

理事

板山 賢治

社会福祉法人 浴風会常任顧問

同

河合 弘之

さくら共同法律事務所 弁護士

同

坂巻 熙

淑徳大学名誉教授

同

佐藤 嘉恭

東京電力株式会社顧問・元中国大使

同

中村 芳夫

社団法人 日本経済団体連合会事務総長

同

米倉 弘昌

社団法人 日本経済団体連合会会長

同

山本 卓眞

富士通株式会社顧問

監事

森田 登

元厚生省社会・援護局援護課審査室長

会計監査人

公認会計士

栗田和憲事務所

(常勤役員は、常務理事のみ)

(平成22年6月23日現在)

## 評議員名簿

鵜飼たつ子

元財団法人 神奈川ふれあい教育振興協会理事長

加藤 栄一

財団法人 年金シニアプラン総合研究機構理事長

金田 充男

弁護士

高橋 忠夫

元東京都福祉局副参事(中国帰国者問題担当)

竹川 英幸

社団法人 大阪中国帰国者センター理事長

千野 誠治

中国残留孤児の国籍取得を支援する会事務局長

中川 桂子

元神奈川県目立研修センター就労相談員

中川 泰彬

中川神経科クリニック院長

本田 機先

元中国帰国者支援・交流センター所長

(平成21年10月28日現在)

# 定着促進センター便り

## 【第86期生の日程】

- 2月4日 中国・樺太帰国者11世  
帯43名入所
- 12日 「入所式」
- 15日 「開校式」
- 29日 「交通安全指導」所沢警察署
- 4月2日 励ます集い「お花見  
友の会」
- 5月20日～21日 「職業体験実習」  
(株)ヤマシタコーポレーション
- 6月3日～4日 「地域体験実習」  
富士・箱根国立公園訪問
- 7月8日 「修了式」
- 9日 第86期生退所

## 地域体験実習

### (株)ヤマシタコーポレーション

この実習は、研修生が地方都市所在の事業所の指導を受け、日本社会を体感し、日本企業の職場の実情を体験し、定着後の早期就労と自立意欲の増進を図ることを目的としてい



ます。前期生までは長野県のリネン会社やドレスメーカーで研修させて頂いていたのですが、今期八十六期生は各世帯一名ずつの代表八名が、五月二〇・二一日の一泊二日で神奈川県伊勢原市の(株)ヤマシタコーポレーションで研修を受けました。

濯でお世話になっています。関連会社やレンタル商品の製作を中国でも展開しているそうです。

実習内容は工場の作業ラインでアイロンの機械に洗濯された製品を投入する仕事や乾いた製品をきちんと四隅を揃えてたたみ、決められた数ごとに束ねる作業です。一日中、立ちっぱなしの上、アイロンなどの機械の熱気と、この日は伊勢原も急に気温が上がリ、窓から流れ込んでくる熱風で室内は三〇度を超えています。熟練の工員の方も床に座って作業をしていました。

二日目の倉庫での研修は工場で洗濯、乾燥、結束された製品を取り出し易いように縦横の向きを揃えて、重量棚に積み重ねて置き、工場に汚れた製品を降ろして空になったトラックにドライバーの方が注文通りに新しい製品をトラックに積み込むのを補助する仕事です。

一日目は「日本に来てから勉強だけだったので疲れた」という不満が、二日目には「慣れたので昨日より速くできるようになった」とか「久々に仕事をして昔の感覚が戻った」と

いう意見に変わり、定着後の就労に向けての強い動機付けになったようです。

実習終了後、所長や工場長、主任や社員の今野さんとの懇談会を設けていただきました。

工場長からは「一・二階を見て回りました。社員に話を聞くと、布巾やタオルの量みが速く、病院の衣類の汚れも見つけてくれたそうです。悪い点を言えば『(研修生が)おしゃべりしていて、手が止まっています』という指摘があったので気を付けてください。」

土屋主任からは「外国名の方はフイリピン永住者で、職業安定所からの紹介です。皆さん、来日してから日本語を習得した方々です。皆さんもがんばってください。」

今野さんからは「(日本の会社では)人間関係はひたすら我慢すること。」と助言がありました。

総括として所長から、「何事も一生懸命に根気良く続けることと、他の人の意見を素直に聞くことです。」と激励していただきました。

研修生は真面目に夏日の三〇度の工場の中で、よく頑張ってくれたと思います。中国での仕事の「経験」と「勘」を思い出してくれたのではないのでしょうか。定着後、就職する時に何らかの形で今回の実習体験を役に立ててほしいと思います。

# 援護基金出版教材一覧表

| 分類                  | 書名                                                    | 定価(税込) | サイズ/頁数     | 内容概略                                                                    |
|---------------------|-------------------------------------------------------|--------|------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 中国帰国者向け遠隔学習・通学学習用教材 | 読解の基礎 上                                               | 1,250  | A4判 48     | 試験校入校試験科目「国語」で出題される文章読解問題を読み解く力を養                                       |
|                     | 読解の基礎 下                                               | 1,250  | A4判 50     | 成する教材。                                                                  |
|                     | 中国帰国者のためのパソコン入門講座ー パソコンに触ってみよう!                       | 1,600  | A4判 88     | パソコン初心者向けの教材。(WindowsXP・Word2003とVista・Word2007に両対応)                    |
|                     | 中国帰国者のためのパソコン基礎講座ー パソコンに慣れよう!                         | 1,600  | A4判 110    | Word操作の基礎を学びます。(WindowsXP・Word2003とVista・Word2007に両対応)                  |
|                     | 中国帰国者のためのパソコン基礎講座ー ワードに慣れよう!                          | 1,600  | A4判 87     | Wordのより便利な編集機能を学びます。                                                    |
|                     | 中国帰国者のためのパソコン専科ー Excel・電子メール入門編・WindowsXP・Excel2003対応 | 1,600  | 簡A4判 89    | Excelの基本操作とメール送受信の基本を学習。                                                |
|                     | 中国帰国者のためのパソコン専科ー Excel・電子メール入門編・WindowsXP・Excel2003対応 | 1,600  | 簡A4判 106   | Excelの基本操作とメール送受信の基本を学習。                                                |
|                     | かけ足数学 上                                               | 1,750  | 簡A4判 86    | 職業訓練校入校試験のための数学を要領よく復習できる教材。                                            |
|                     | かけ足数学 下                                               | 1,750  | 簡A4判 94    | 職業訓練校入校試験のための数学を要領よく復習できる教材。                                            |
|                     | 面接のやりとり (CD1枚付)                                       | 1,000  | A4判 69     | 職業訓練校入校試験の面接試験対策用教材。                                                    |
|                     | 始めてみよう・話してみようⅠ (CD2枚付)・解答別冊                           | 1,700  | A4判 154/22 | 入門〜初級前半の日本語の語彙と文法文型の知識を学習するための教材。日本語学習が初めての人にも、これまで学習したことを整理したい人にも利用可能。 |
|                     | 始めてみよう・話してみようⅡ (CD2枚付)・解答別冊                           | 1,700  | A4判 125/34 |                                                                         |
|                     | 始めてみよう・話してみようⅢ (CD2枚付)・解答別冊                           | 1,700  | A4判 157/40 |                                                                         |
|                     | 始めてみよう・話してみようⅣ (CD2枚付)・解答別冊                           | 1,700  | A4判 199/33 |                                                                         |
|                     | ことばと表現Ⅰ (CD1枚付)                                       | 1,300  | A4判 160    |                                                                         |
|                     | ことばと表現Ⅱ (CD1枚付)                                       | 1,300  | A4判 149    | 『始めてみよう・話してみよう』とほぼ同じ内容。自学自習用ではなく、教室での学習に向いています。                         |
|                     | ことばと表現Ⅲ (CD1枚付)                                       | 1,300  | A4判 157    |                                                                         |
|                     | ことばと表現Ⅳ (CD1枚付)                                       | 1,300  | A4判 107    |                                                                         |
|                     | 新・日本の生活とことばー1 消費生活 (上) (CD2枚付)                        | 1,700  | A4判 119    |                                                                         |
|                     | 新・日本の生活とことばー1 消費生活 (下) (CD2枚付)                        | 1,700  | A4判 98     |                                                                         |
|                     | 新・日本の生活とことばー2 医療 (上) (CD1枚付)                          | 1,700  | A4判 99     | 入院や通院など、医療機関利用に関する知識を深め、診察場面などの会話を学ぶ教材。                                 |
|                     | 新・日本の生活とことばー2 医療 (下) (CD1枚付)                          | 1,700  | A4判 117    |                                                                         |
|                     | 新・日本の生活とことばー3 交通 (上) (CD2枚付)                          | 1,700  | A4判 102    |                                                                         |
|                     | 新・日本の生活とことばー3 交通 (下) (CD3枚付)                          | 1,700  | A4判 132    |                                                                         |
|                     | 目からウロコのピンポイント講座 (CD2枚付)                               | 1,600  | A4判 128    |                                                                         |
|                     | 中国語を母語とする人のための医療用語・表現集                                | 2,500  | B5判 361    | 医療サービスを受ける際に出てくる用語や表現をまとめた資料集。日中対訳式。10種類の問診票、3種類の索引付き。                  |
|                     | 中国語版 運転免許学科教本                                         | 1,200  | B5判 252    |                                                                         |
|                     | こつこつ日本語運転免許                                           | 2,500  | A4判 172    |                                                                         |
|                     | 運転免許学科試験問題集 仮免・本免(日本語版)                               | 500    | B4判 32     | ※中国帰国者とその家族の方及び支援者向けの特別価格です。一般の方は¥1,800円です。                             |
|                     | 運転免許学科試験問題集 仮免・本免(中国語版)                               | ¥1,500 | B4判 32     |                                                                         |
|                     | 求職会話 (CD2枚付)                                          | 2,000  | A4判 175    | 就職希望者のための日中対訳・自学自習用教材。                                                  |
|                     | 求職会話Ⅰ、Ⅱ (CD2枚付) (ロシア語)                                | 2,000  | A4判 79/75  |                                                                         |
|                     | 話してみよう近所の人と①(CD1枚付)                                   | 1,300  | A4判 91     | 近所の人や子供の学校の先生との会話を題材にした自学自習用教材。                                         |
|                     | 話してみよう近所の人と②(CD1枚付)                                   | 1,300  | A4判 81     |                                                                         |
|                     | 漢字を覚えよう(上)                                            | 2,000  | A4判 321    | 中国語を母語とする日本語学習者のための漢字教材                                                 |
|                     | 漢字を覚えよう(下)                                            | 2,000  | A4判 346    | 日本の小・中学校で学習する漢字1800字の読み・意味・中国語訳・練習問題がついています。自学自習用教材。                    |
|                     | 漢字ゆっくり A                                              | 1,700  | A4判 182    | 日本の漢字の読み書きをじっくり時間をかけて学びたい人のための教材。                                       |
|                     | 漢字ゆっくり B                                              | 1,700  | A4判 154    |                                                                         |
|                     | のんびり学ぼうⅠ・(音読編付・CD1枚付)                                 | 1,800  | A4判 137/29 | 日本語をゆっくり学びなおしたい一世世代のための教室学習用教材。                                         |
|                     | のんびり学ぼうⅡ・(音読編付・CD1枚付)                                 | 1,800  | A4判 121/33 |                                                                         |
|                     | 自己表現作文A (CD1枚付)                                       | 1,700  | A4判 177    |                                                                         |
|                     | 自己表現作文B (CD1枚付)                                       | 1,700  | A4判 181    |                                                                         |
|                     | ひらがな練習帳セット (3冊で1セット)                                  | 1,150  |            |                                                                         |
| かな学習教材              | カタカナ練習帳セット (3冊で1セット)                                  | 1,150  |            | ひらがな/カタカナ練習帳1・2・3、「読んでもよい・書いてみよう・すらすら読んでもよい」がワンセットでお得な値段になっています。        |
|                     | ひらがな練習帳1・読んでもよい                                       | 450    | A5判 37     | まずはひらがな! 全単語揃い! カットつき。あ行・か行…と1行ずつ進みます。                                  |
|                     | ひらがな練習帳2・書いてみよう                                       | 450    | B5判 46     | ひらがな1と一緒に進めると効果的。手で覚えて、目で覚える。                                           |
|                     | ひらがな練習帳3・すらすら読んでもよい                                   | 450    | B5判 23     | ひらがな1が終わったら3で強化。大量に読むことで読むスピードもアップ。                                     |
|                     | カタカナ練習帳1・読んでもよい                                       | 450    | A5判 35     | ひらがな1と同様全単語カットつき。付録に生活分野別カタカナ語集。                                        |
|                     | カタカナ練習帳2・書いてみよう                                       | 450    | B5判 47     | 読む練習と並行して書く練習を。まぎらわしい文字への注意付き。                                          |
|                     | カタカナ練習帳3・すらすら読んでもよい                                   | 450    | B5判 15     | 身のまわりにはカタカナ語がたくさん。大量に読んでカタカナ語に慣れましょう。                                   |
|                     | カタカナ練習帳 1 ワークブック                                      | 680    | B5判 28     | カタカナ1が読めるようになったら、先生の発音を聞いて正確に書き取れるように練習しましょう。単語暗記の自己チェック用にも便利。          |
|                     | 文字の練習/聞き書き カタカナ                                       | 820    | B5判 41     | ア行・カ行…と1行ずつ日本語の音に慣れましょう。1行の中で先生がアランダムに読んだ音を聞き分けて書き取る形式。仮名の導入期に使用。       |
|                     | 学教科                                                   | 2,000  | B5判 122    | 計算力はあるのに日本語がわからないから文章題が解けない。そんな子供たちのためによく使われる文型を整理して文章題をつけました。          |
| その他                 | あたらしい ぶんけいさんすう                                        | 1,110  | B5判 134    |                                                                         |
|                     | 写真集 私の祖国                                              | 2,500  | B5判 256    | 戦後50年・中国残留孤児の記録                                                         |
|                     | 日本での明日をめぐして                                           | 1,500  | B5判 194    | 援護基金創立20周年を記念し、全国から募集した優秀作6編、佳作8編                                       |
|                     | 金のひしゃく 北斗七星になった孤児たち(絵本)                               | 1,600  | A4判 30     | 戦後50年・中国残留孤児が、旧満洲の難民収容所に収容された孤児たちを描いた絵本                                 |
|                     | (新刊) 孤児に寄り添い25年                                       | 2,000  | A4判 270    | 援護基金創立以来25年の活動を網羅し、孤児問題の理解に役立ちます。                                       |

1. 代金の入金が確認でき次第、お客様の元へ発送いたしますが、お届けまでに1週間ほど要する場合があります。
2. 教材費5,000円以上ご注文の場合、郵送料は当援護基金で負担します。
3. 「※」の教材は帰国者ご本人とその家族、または帰国者を支援する団体やボランティアの方がお買い上げの場合は「援護基金特別価格」が適用されます。
4. 「簡」は、簡易製本版の教材であることを表します。
5. 「○」の教材は樟太等帰国者向けのロシア語訳が入った版もあることを表します。なお、樟太等帰国者向け教材は、すべて簡易製本版となります。
6. ロシア語訳版「漢字をおぼえよう」は4分冊(各2000円)です。

## 帰国者の底力、地域の底力

### — 宇都宮市生活福祉課の取り組みから見えるもの —

新支援策がスタートした2年前（平成20年）、栃木県には帰国者1世57世帯がいて、支援給付対象は43世帯でした。宇都宮市にはその内のほぼ半数に当たる24世帯40名が暮らしていました。

当時、同市の生活福祉課は支援給付手続きの窓口になったばかりで、多忙を極めていました。帰国者の生活を様々な側面から支援する「地域生活支援事業」は、課にとって初めての業務であり、少なからず戸惑いがあったのではないのでしょうか。

その後、同年11月、当センターは県や市との連携の下、「ボランティア研修会 in 宇都宮」を開催し、また、翌21年2月には栃木県日中友好協会の全面的な協力を得て、県や市と共催で宇都宮市の帰国者を主たる対象に交流会を開催しました。参加した数名の市職員は帰国者同士が久しぶりに再会し、交流を楽しむ姿を目の当たりにして交流会の必要性を改めて認識されたようです。

それから約10ヶ月後、当センターが同課を訪れた時、すでに市の支援相談員（帰国者2世）が、帰国者宅に直接電話をしたり個別訪問をしていて、徐々に帰国者と課の間で信頼関係が強まっていました。そして、課として帰国者の交流機会づくりを応援する方向で意見がまとまっていました。帰国者の中には自分でお金を出してもいいから互いの親睦を深めたい、地域の為に貢献したいという意見もあったそうです。そこで、宇都宮市では全ての帰国者支援を補助事業に頼ってしまうのではなく、交流機会づくり等では、帰国者自身の力と2、3世や地域の力を集めて進めていく道を選びました。

この考えの下、「第一回新春茶話会」が企画され、平成22年3月6日、宇都宮市総合福祉センターで幕を開けました。会には1世世代25人の他に、民生委員・児童委員、ボランティア、県や市の関係者などを加え、総勢50人が集まりました。帰国者の皆さんにとっては前回の交流会からほぼ一年ぶりの再会となり、太極拳、日中の歌、ゲームなどを楽しみ、歓談していました。

市は交流会の企画にあたり、次の点を検討しました。①2、3世が親の送迎も兼ねて参加できるように活動を土曜日に設定する。②自宅から会場まで交通費がかかる場合、自己負担してもらう。（市の中心部にある会場まで、帰国者宅から20、30分で行くことができ、大きな負担にならない）。③募集チラシに「できれば簡単な手料理を一人1品持参してください」と書き添え、負担のかからない程度に協力を求める。④帰国者が住んでいる10地区から民生委員・児童委員の代表者を招いて、いっしょに活動してもらいながら、帰国者に委員の存在と地域で果たす役割について理解してもらう。

事後の帰国者向けアンケートによれば、今後、民生委員・児童委員の訪問を希望しますかと問いかけたところ、約8割の帰国者が希望すると回答したそうです。市は、既に自立支援通訳を配置し、帰国者が地域活動へ参加しやすいように、「宇都宮市 民生委員児童委員協議会」とも連携しながら支援を展開する意向です。これから先、帰国者の底力や地域の底力が一層発揮されていくことを期待したいと思います。（M）

歌の最後は「北国の春」の大合唱。



# 支援・交流センター便り 第17号

編集・発行 中国帰国者支援・交流センター

〒110-0015 東京都台東区東上野1-2-13 カーニープレイス新御徒町6階

TEL 03-5807-3171 FAX 03-5807-3174

E-mail: info@sien-center.or.jp URL: http://www.sien-center.or.jp/

## 普及啓発事業の取り組み

### —写真パネルと映像DVDなどの貸出案内—

当センターでは、帰国者に対する理解と協力を得るために、中国残留邦人問題の背景や経過についての情報を収集し、広く一般に提供できるよう、次のような取り組みを行っています。

- (1) 自治体や支援団体の活動を支援するため、シンポジウムの写真パネル、映像などを貸出します。

平成21年3月、財団法人中国残留孤児援護基金は、厚生労働省の委託を受けてシンポジウムを開催しました。そこで使用した写真パネル〔A1サイズ、6枚組〕とオープニング映像〔DVD約10分〕について厚生労働省の合意を得て、無料〔往復の送料は使用者負担〕で貸出しています。今後開催される会議や展覧会で是非ご利用ください。また、聞き書き集の記録映像〔DVD、VHS37分〕もご利用いただけます。

- (2) 「聞き書き集（中国残留邦人等からの体験談）第1集から第5集」を、都道府県、図書館、関係機関、支援団体などに送付し、帰国者に対する理解と協力を得よう努めています。

「聞き書き集（中国残留邦人等からの体験談）第1集から第5集」は当センターのホームページの以下のサイトで閲覧できます（印刷不可）。

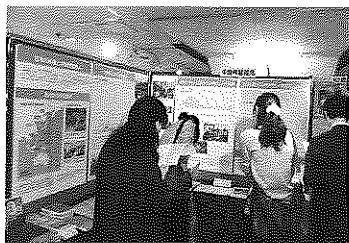
<http://www.sien-center.or.jp/news/kikikiki02.htm>

- (3) 中国残留邦人に関する資料を保存し、有効に活用するため、広く一般に資料の提供をお願いしています。

皆様のお持ちの資料でご提供いただけるものがございましたら、ご連絡宜しくお願いいたします。

照会先：上記編集・発行先

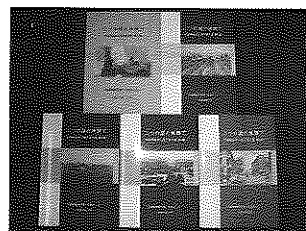
(T)



パネル展示の様子



シンポジウム DVD と記録映像



聞き書き集



## 援護基金からのお願い

当援護基金は、国から委託されている一時帰国事業や中国帰国者定着促進センターの運営のほか、養父母の扶養費の援助、帰国者家族の就学援助、養父母お見舞い事業、帰国者の老後支援事業、相談事業、帰国後の孤児や婦人を援助する団体の助成…などを善意の方々の寄付金をもとにすすめています。

ご寄付につきましては、下記の口座でお受けしております。

### 郵便振替口座

郵便振替口座番号 00190-0-64863

加入者名 財団法人中国残留孤児援護基金

### 銀行口座

口座名 財団法人中国残留孤児援護基金

|            |         |      |              |
|------------|---------|------|--------------|
| ○みずほ銀行     | (新橋支店)  | 普通預金 | No. 778162)  |
| ○三井住友銀行    | (東京公務部) | 普通預金 | No. 22640)   |
| ○三菱東京UFJ銀行 | (本店)    | 普通預金 | No. 7644778) |
| ○三菱東京UFJ銀行 | (東京公務部) | 普通預金 | No. 3571525) |
| ○りそな銀行     | (赤坂支店)  | 普通預金 | No. 999753)  |
| ○りそな銀行     | (東京公務部) | 普通預金 | No. 6102827) |

### ※ご注意

個人情報保護の観点より、銀行に寄付金をお振込いただいた方のご連絡先等を銀行から当財団に教えていただけないため、領収書、お礼状をお届けできない事態が生じております。銀行に寄付金をお振込いただいた方で、長期間領収書が届いていない方は、お手数ですが中国残留孤児援護基金事務局まで、ご連絡先等をお知らせ下さい。

『援護基金』第66号 2010年7月28日発行

編集・発行

財団  
法人

**中国残留孤児援護基金**

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目5番8号

オフィス虎ノ門1ビル

電話 03-3501-1050

FAX 03-3501-1026